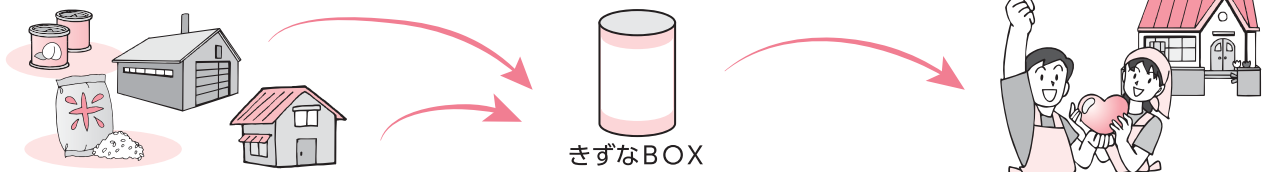


フードバンクにご協力を！



きずなBOX（食品収集箱）に食品を入れてください

フードバンクとは、安全に食べられるのに、箱のつぶれ、印字ミス、パッケージ変更、規格外などさまざまな理由で販売できない食品や食材を企業関係者から、また手をつけずに眠っている食品を一般家庭から寄贈してもらい、食品を必要としている施設や団体に無償で提供する活動です。



きずなBOX

フードバンクの活動を支えているのが、ご家庭などにある食品をどなたでも入れて寄付することができる「きずなBOX」です。すでに設置されている**役場1階住民課前**と、**地域交流館みほふれ愛プラザ1階ホール**に加え、新たに**老人福祉センターロビー**に設置されました。皆さまから寄贈された食品は、生活困窮者の自立支援対応の一環としての活用や、児童養護施設など福祉施設への食の支援となります。ぜひ、ご家庭で眠っている缶詰、レトルト、インスタント食品などの寄贈をお願いします。

※食品は常温管理できるもので、未開封、賞味期間が2カ月以上残っているものを直接「きずなBOX」に入れてください。



▲きずなBOX

支援が必要な方は、社会福祉協議会までお問い合わせください。

■問合せ 美浦村社会福祉協議会 ☎029-885-0038

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第5回

美浦村 × SDGs
(エスディーゼーズ)

持続可能な(SUSTAINABLE)開発(DEVELOPMENT)目標(GOALS)について考えてみましょう

◆ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう



人口構成の変化や価値観の多様化、グローバル化等により、地域経済が先行きの見えない状況となっている中、時代の変化に対応しながら、持続的な発展が可能な地域産業を築いていく必要があります。村の農・水産業では地産地消を産業振興の核とし、若年層がやりがいを持って取り組める営農環境の確立、工業については既存の産業の集積と人的、物的資源を最大限に活用した産業振興策に取り組み、商工業の基盤充実を行います。

◆ゴール10 人や国の不平等をなくそう



世界では未だ最貧困層と最富裕層、農村部と都市部といった格差があります。学校への就学率(最貧困家庭の子どもは4倍の確率で学校へ通えず)や5歳未満の幼児死亡率(最貧困家庭の幼児は2倍高い)、安全な衛生施設の有無(農村部の50%は安全な衛生施設を有していない)等、多く存在しています。直近では新型コロナウイルス感染症に伴う差別等も報道されています。この時期だからこそ、互いに支え合いながらの生活を送るよう試みましょう。

出典：ミレニアム開発目標報告 2015

▶次回はゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール12「つくる責任、つかう責任」を紹介する予定です。